

5. 準備物の案内

① 園生活に必要なもの

0～2歳児



授乳用ガーゼ



紙オムツ 又は



布オムツ・オムツカバー

3～5歳児



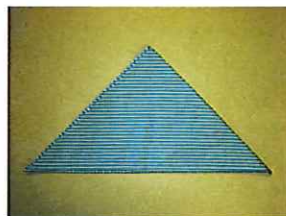
通園バッグ



布バッグ



クッキング用エプロン



三角巾

〔自分でつけられるようにマジックテープ、又はゴムをつけてください。〕



マスク



体操着・体操着袋

◇体操着（半袖白Tシャツ・半ズボン。寒い時はトレーナーで調節します。）を着用しますが、体を締め付けず伸縮性のある動きやすい物をご用意してください。また、専用の体操着袋に入れてください。

◇記名したゼッケンをお渡ししますので、体操着のTシャツ胸部分に縫い付けを指定日までにご用意してください。（初回のみ）

◇女の子は、頭にピン・飾り付きゴム等を付けることは、危ないので控えて下さい。

◇髪の長い子はゴムで結んできてください。（誤飲にも繋がる恐れがある為、ちぎれないものをお願いします。）

共通のもの

※持ち物すべてに記名をお願いします。



上着



ズボン



肌着



綿パンツ



手拭きタオル

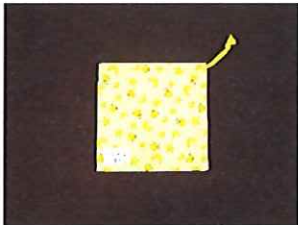


汚れものを入れる袋
(エコバックも可)



靴 (外遊び用)

・ヒモがついてる物や音の鳴る靴はお控え下さい。



コップ袋



靴下



サンダル (夏場のみ)
*かかとがついている物が安全です



タオルケット (夏場のみ)



ジャンパー (冬場のみ)
*厚手すぎずフードのないもの
*フックにかけられるよう首元にヒモなどをつけて下さい

園で用意するもの



食食用エプロン



おしぼり



ベッド・シーツ



おねしょシート



コップ



カラー帽子



歯ブラシ



毛布

毎日ご用意いただくもの

季節やお子さんの発達に合わせて調整してください。

下記の表は目安の枚数です。

	0歳児	1歳児	2歳児	3～5歳児	備考
紙オムツ (紙パンツ) 又は 布オムツ	10	10	5～10		紙オムツの替えが無い場合、園にある物を使用しますので後日、無記名のオムツを返却して頂きます。
オムツカバー (布の場合)	5～6	4～5			
パンツ		5	5	3	パンツの替えが無い場合、園にある新品の物を使いますので後日、新品の物を返却して頂きます。
ガーゼハンカチ	5				授乳・水分補給用
コップ (園で用意する物)		1	1	1	毎日持ち帰って洗ってきて下さい。 *0歳児は上手に飲めるようになるまでは園のコップを利用します。
コップ袋		1	1	1	毎日持ち帰って洗ってきて下さい。
汚れもの入れ袋	1				必ず記名をお願いします。
上着	3～5以上				
ズボン	3～5以上				
肌着	3～5以上				肌着は長袖の物ではなくランニング又は半そでのご用意をお願いします。
手拭きタオル	1				タオルかけにかけますのでヒモをつけてください。
ハンカチ				1 (5歳児)	毎日清潔なものを ご用意下さい。
通園カバン			1 (後半より使用 します)	1	肩から背負える物で、キーホルダーは控えて下さい。
布バック	1	1	1	1	汚れ物や作品等の持ち帰りに使います。
出席ノート (シール帳) (園で用意する物)				1	
水筒			1 (ピクニックで 使用します)	1	

月曜日ご用意いただくもの

	0歳児	1歳児	2歳児	3～5歳児	備考
靴（散歩用）	1 (歩けるようになったら)		1		週末に洗濯をしてください。
カラー帽子 (園で用意する物)			1		週末に洗濯をして下さい。 ゴムが伸びていたり、切れていたりしないかご確認ください。
シーツ (園で用意する物)			1		週末に洗濯をしてください。 週初めの登園の際は、シーツはたたくで所定の場所に置いてください。 シーツのゴムが伸びた際には付け替えをお願いします。

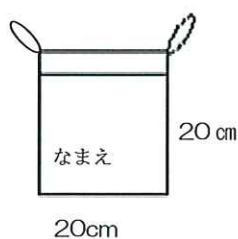
その他

	0歳児	1歳児	2歳児	3～5歳児	備考
健康ノート (園で用意する物)			1		園で保管いたします。
体操着				1	毎月2回の体育指導前に持ってきてください。
体操着袋				1	毎月2回の体育指導前に持ってきてください
クッキング用 エプロン				1	クッキング保育時や配膳時に用意して頂きます
三角巾				1	同上
マスク				1	同上 忘れた場合は未使用の現物で返却していただけます。 又、咳が出る場合もお持ちください

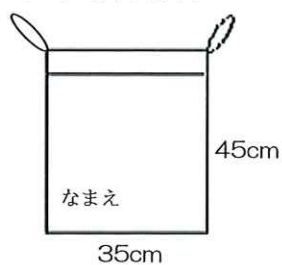
土曜日にシーツ替え・荷物の補充に来園する場合のクラス入室は、17時までをお願いいたします。
(17時以降は限られた保育室で保育していますので他のクラスの入室はご遠慮下さい。)

② ご用意していただくもののサイズ

(1) コップ袋



(2) 体操着袋



(3) 布バック

(エコバックでも可)



(4) 手拭きタオル



※サイズは目安なので、お子様が自分で出し入れしやすいサイズをお願いします。市販のものでも結構です。

※コップ袋は、両側にヒモがついているタイプが開け閉めしやすいようです。

※手拭きタオルは、フックにかけたりしますのでヒモ付きをお願いします。

③ 名前はここに

- *必ず持ち物には名前をご記入下さい。
- 油性の黒ペン（マジックインキなど）でお書き下さい。
- 洗濯で文字が薄くなってきたらその都度書き足すようお願いします。
- その他の私物（ゴムヒモ等）にも記名をお願いします。
- 記名の無い物が紛失した場合は、出てこない場合がありますので必ず記名をお願いします。

紙オムツ



※名前はお尻の方に大きく記入して下さい。

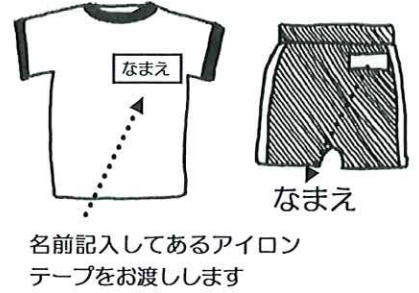
汚れもの入れ袋



くつ



体操着



④ ピクニック・遠足について

《持ち物》

リュックサック



- お子さんの身体に合ったサイズで背負い易いもの。成長と共に調節できるもの。

レジャーシート



- お子さんが出し入れしやすいサイズの物をお持ち下さい。

水筒（ヒモ付き）



- リュックサックの中に入れて下さい。

おしぼり



お弁当



- おにぎりやサンドウィッチなど個包装のものとおかず、フルーツなどお願いします。（お弁当がひっくり返ってしまった時に、予備が無い為、個包装の物が望ましいです）
- ※もうじ2,保育内容⑦食事と離乳食の【誤嚥・窒息の予防】も参照してください。

フォーク&スプーン&おはし



その他

- ビニール袋（ごみ入れ）
- ハンカチ
- ティッシュ
- レインコート

《服装》

- 活動しやすい服装
- 履き慣れた運動靴
- 靴下を履いて登園して来て下さい

《お願い》

- 毎日持ってくるコップと手拭きタオルは帰園後に使用いたしますので、忘れずにお持ち下さい。
- 天候が悪い場合は中止となりますが、持ち物は持参して下さい。（給食はありません。）

⑤ こんな衣類がおすすめです

○制服はありません。お子さんが薄着で活動しやすい服装をするようにして下さい。

衣類はご家庭で着用之物をご用意いただいて結構ですが、新たに揃える場合は次のようなことを参考にお選び下さい。保育園生活がのびのびと楽しめるよう、汚れてもさしつかえがないものにしましょう。

【活動しやすいもの】

- 伸縮性のある綿の T シャツや半ズボンがよいでしょう。
- 飾りのボタンやヒモ、フードのついていないシンプルな形が安全です。
- すり落ちたりしないで股上丈が深いズボン、上着は腹や背中が見えないように丈の長いものがよいでしょう。
- スカート・裾の長いズボン・フード付きの服・つなぎの服・サスペンダー・スカートズボンなどは遊んでいる時に玩具にひっかかるなどして危険ですのでご遠慮下さい。
- ジーンズは、伸縮性がなく動きにくいので、ご遠慮下さい。
- 衣服調節のしやすい衣類を選びましょう。



【着脱を習慣づけるために】

- スボン、パンツはゴム入りの簡単なものをお勧めします。つりズボンやつなぎ、ロンパースは一人では脱ぎ着しにくいです。
- 長袖下着や、厚手のセーター、トレーナーは、3歳未満児は自分で着脱が難しいようです。着脱のしやすい衣服を選びましょう。
- 前襟ぐり、袖ぐり、袖下にゆとりのあるものが良いでしょう。
- 前開きの衣類はボタンが大きめのものが着やすいです。
- くつはかかとを持ってはける運動靴をお勧めします。戸外遊びや散歩をたくさんしますので足にあったくつをお選び下さい。

【安全で洗濯しやすいもの】

- シャツは汗や汚れをよく吸湿し、通気性の良い綿素材がよいでしょう。(半袖・ランニング)
- 毎日の洗濯が可能で、肌への刺激も少ないです。特に乳幼児は肌への刺激を考え、化学繊維の下着はさけましょう。

おむつは？

- ご家庭でご使用になっているものをお持ち下さい。布オムツ、紙オムツのどちらでも結構です。おしりふきは園で用意します。



【こんな危険があります】

フード

フードが滑り台やジャングルジムなどの遊具に引っかかったり、他の子に引っ張られたりして危険ですので、外で遊んだり、運動する際には着せないようにしましょう。その他、スカッツ(ズボンにスカートが付いているデザインのもの)、チュニック(ワンピースにもなるTシャツ)、長Tシャツ・からだのサイズにあっていないぶかぶかのシャツやズボンも引っかかったり躓いたりして危険です。

首まわりのヒモや上着、ズボンのすそヒモ

上着の首まわりについているヒモが、遊具やドアなどに引っかかり、窒息しそうになったなどの事故あったという話をききます。また、上着のすそやズボンのすそのヒモも、遊具や自転車などに引っかかったり、自分で踏んで転んだりする事故が起きています。ヒモのついた服を選ばないようにしたり、ヒモを取りはずす、ゴムなどに取り換えるなどして着せるようにしましょう。また、マジックテープもついている場所によって皮膚を傷つける場合があるので注意しましょう。